

—キリスト教独立伝道会総会記念—

キリスト教伝道講演会

「世に残すもの」

—みんなの営みで小さな歴史をつくろう—

助 川 暢 氏

自分が生きて来た足跡を振り返ると、多くの方々に赦され支えられて来たこと、多くの方々に傷つけ、間違いを犯し、愛が足りなかったことなど次々と浮かび、感謝と謝罪の祈りを深くする。そのような中で、何か人の心を温かくするようなことが出来ないか、を考える。

それは、「小さいことで良いのだ」、と私は学んだ。一回だけの命である。小さくとも、少しでも残せればうれしい。それらが集まれば、小さな歴史をつくることになる。

内村が言った「後世への遺物」、それぞれの置かれている所で、みんなで造り上げ、残していこうではありませんか。

2018年4月21日(土) 15時30分~17時00分

YMCAアジア青少年センター 3F 302号室

東京都千代田区猿樂町 2-5-5 ☎03-3233-0611

自由献金

主 催：キリスト教独立伝道会

連絡先：多田義国

〒272-0123 市川市幸 1-22-15-308 ☎047-396-0975

<講師・助川暢氏 紹介>

1934年福島県阿武隈山地（現田村市）に生まれる。高2の時「後世への最大遺物」を読み、以後内村の著書に学ぶ。北大農学部に進み、1955年に塚本虎二先生の集会に出席し、以後札幌聖書研究会、帰省時は阿武隈無教会に出席する。大学卒業後、道内の公立高校に勤務。1959年より基督教独立学園高校に赴任。次女の障害が重く、1967年10月より岡山の重障児施設旭川児童院の職員となり岡山聖書研究会に出席。盛岡の向中野学園高校勤務を経て、多摩市島田療育園に勤務。高橋聖書集会に出席。1979年に基督教独立学園に再赴任。1995年～2005年まで校長。定年後講師を務めたが、2012年退任。現在は学園の環境整備のボランティア活動と共に、ブナ原生林保護の「小国の自然を守る会」会長、山形九条の会呼びかけ人、障害者施設の家族会会長、山形いのちの電話理事など務めている。

